

令和4年3月11日
海事局総務課

＼海洋教育も「GIGA スクール構想」に対応！／



海事産業の重要性を伝える授業動画を公開します。

国土交通省海事局では、小学校の社会科における海洋教育を推進するため、授業動画を3本作成し、海事局のYouTube「海ココちゃんねる」で公開します。

国土交通省海事局では、教員の皆さんが海洋・海事の重要性に関する授業を無理なく取り入れられるよう、小・中学校の教員向けの学習指導案(海洋教育プログラム)を作成するなど、教育現場への支援を行っています。

今年度は、海事関係団体及び教育関係者からなる海洋教育推進検討委員会でのご議論を踏まえ、小学5年生社会科向けのオンライン授業動画を3本作成いたしました。

動画では、普段よく目にする食料についての話題や、船と学校との大きさの比較など、子どもたちが興味を持ちやすい、生活に身近な内容になっています。

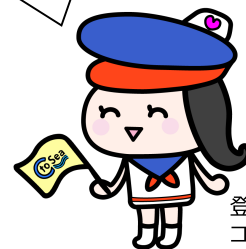
また、動画内で興味を持ったことを「調べ学習」が出来るよう、動画の概要欄にいろいろな参考資料も紹介しています。

教員の皆様におかれましては、授業内や子どもたちの自宅学習にご活用ください。

子どもたちの「海上輸送」「造船」「港湾」にまつわる様々なナゾの解明にお役立てください！



YouTube
「海ココちゃんねる」



登場キャラクター
ココちゃん

【問い合わせ先】



行こうよ海。

海事局総務課 海洋教育・海事振興企画室 田口、大久保

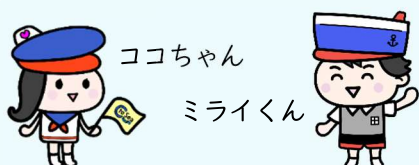
(代表) 03-5253-8111 (内線 43-145、43-215)

(直通) 03-5253-8946 (FAX) 03-5253-1642

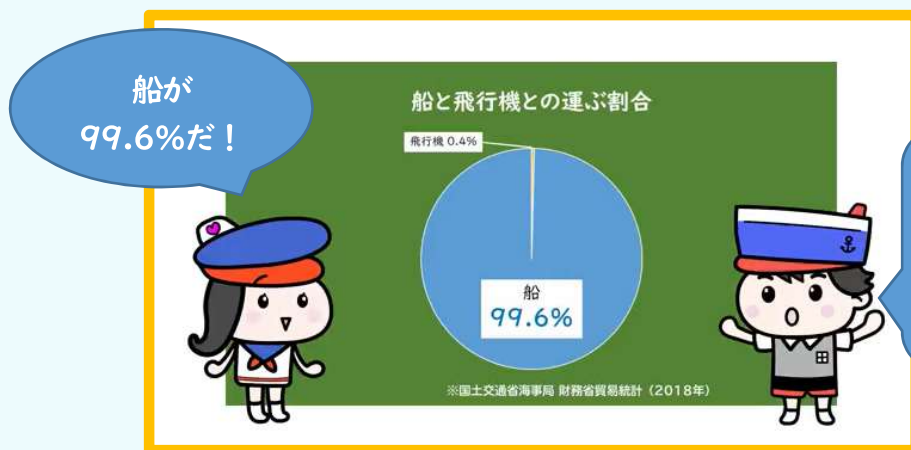
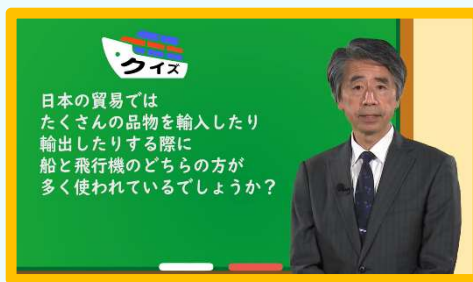
社会科における海洋教育の推進

海事産業の重要性を伝える授業動画

- 四方を海に囲まれた日本にとって、**海運や造船、港湾などの海事産業**は、私たちの暮らしや経済を支える不可欠な社会インフラであり、我が国の **貿易量の99.6%、国内物流の約4割**は**海上輸送**が担っています。
- しかし、海事産業は、人の目に触れることが少ないため、その役割や重要性を正確に知る機会が多くありません。我が国が、海洋国家として持続的に発展していくためには、**国民一人一人が子供の頃から、海洋や海事産業に関心や親近感を持ち、その重要性を認識することが必要**となります。
- また、「海上輸送」「造船」「港湾」などの海事産業に関して、小・中学校学習指導要領(平成29年3月告示)での記載が充実し、学校教育の学習内容として明確に位置づけられました。
- そこで、子供たちに海事産業の重要性を伝えるため、GIGAスクール端末を活用いただける**授業動画**を制作しています。



海事産業の重要性について、
ココちゃん、ミライくんと一緒に学びます！



国土交通省海事局公式 YouTube 「海ココちゃんねる」にて公開中！

- ・日本の食料輸入を支える「海上輸送のなぞ」をさぐれ！
- ・日本の貿易を支える「船や港の役割と働く人のなぞ」をさぐれ！
- ・自動車運搬船などを作る「造船所のなぞ」をさぐれ！



海洋教育プログラムのご紹介

- 国土交通省海事局では、小・中学校の教員の皆様向けに、無理なく授業の中に海洋・海事の重要性を取り入れられるよう指導案を中心とした「海洋教育プログラム」を作成しています。

海洋教育プログラム

https://www.mlit.go.jp/maritime/maritime_tkl_000074.html

- ・ 学習指導案の例
- ・ 社会科(海事関連) 指導案例の新学習指導要領における系統・接続表
- ・ 海洋教育カリキュラム・マネジメント例
- ・ 海洋教育の取組例紹介 など

※海洋教育プログラムを活用された場合、アンケートへのご協力をお願いします。(上記当省 HP 内に様式を掲載)



国土交通省 HP

写真資料やワークシート等もダウンロードいただけます。

学習指導案の例

小学校 5 年生社会科

- ・ これからの工業生産とわたしたち **【海運】**
貿易を支える港や船の役割と働く人々
- ・ これからの食料生産とわたしたち **【海運】**
食料輸入を支える海上輸送の役割
- ・ 自動車をつくる工業 **【造船】**
自動車運搬船を造る造船所
- ・ 我が国の工業生産 **【海運】**
工業生産を支える貿易と運輸

中学校社会科 地理的分野

- ・ 世界と日本の結びつき **【海運】**
グローバル化が進む世界
日本各地を結ぶ交通・通信
- ・ 中国・四国地方の人々の営み **【造船】**
瀬戸内地方の造船業
広がる交通網・交通手段
- ・ 関東地方の人々の営み **【海運】**
関東地方と世界の結びつき

新型コロナ禍でも私たちの生活を支えてくれる 「海のエッセンシャルワーカー」を紹介

国土交通省では、海事産業の様々な仕事を紹介した「SEA-GOTO 海のシゴトガイドブック」を作成しています。

普段は見ることのできない外航船の船長や造船技術者などの 36 名のお仕事をわかりやすく紹介しています。

※海と船のポータルサイト「海ココ」でご覧下さい。

<https://c2sea.jp/sea-goto/>

このほか、「海ココ」教育関係者向けページでは、小・中学生向けの海に関するコンクールの紹介や子供たちが遊びながら海のことを学べるコンテンツを掲載しています。



「海ココ」で検索



海洋教育のモデル授業

- 国土交通省海事局では全国各地で海洋教育のモデル授業を実施して、指導案や副教材の制作、改善に取り組んでいます。

<海洋教育モデル授業例>

1. 日 時 令和元年12月3日(火) 5時限目(45分)
2. 場 所 長崎県佐世保市立楠栖小学校(対象:5年生)
3. 授業者 帝京平成大学 高橋武郎 准教授
4. 授業テーマ「貿易を支える船や港の役割と働く人々」

日本の貿易における海上輸送の役割の重要性を理解するとともに、船の特色や港の工夫などを調べ、分かったことを自分の言葉でまとめることができるようにする。



【概要】

- ・日本の貿易量における船と飛行機の割合比較
- ・貿易を支える船や港の概要を紹介
→各グループによる調べ学習・発表(船の特徴、役割)
- ・副教材動画を見て調べたことが正しかったか確認
- ・船長、ガントリークレーン操縦士のお話紹介
- ・児童が授業の感想発表(まとめ)

海洋教育モデル授業 YouTube で公開中!

C to Sea プロジェクト
公式 YouTube チャンネル
海ココちゃんねる
スタート!!
海事関連の貴重なムービー公開中!
海や船の最新ニュース 海の仕事に密着取材
船や造船所の潜入レポート 海を楽しもう



国土交通省海事局公式 YouTube「海ココちゃんねる」では、全国各地で実施したモデル授業の様子を公開しています!(「海ココちゃんねる」で検索いただきご覧ください)

「工業生産を支える貿易と運輸」(鳴門市撫養小学校)

コンテナ船の大きさや運ぶ量の多さ、乗り組み期間の長さに対する“驚き”から学習問題を発見し、その理由を考え、表現し、調べ方を決める。貿易や海での運輸の主役、大黒柱であるコンテナ船、コンテナの荷物、それを運ぶ船員の仕事や役割に興味・関心をもって授業に参加する。

「工業生産を支える貿易と運輸」(長野市立戸隠小学校)

日本の貿易における船舶による海上輸送や貿易港の様子、それに携わる人々の働きについて調べ、海上輸送や貿易港で働く人たちが貿易や日本の産業や国民の暮らしを支えていることが分かる。

「自動車専用船を造る造船所」(気仙沼市立鹿折小学校)

自動車専用船などの大きな船を造る造船所では、職人の技術を生かしたり、造り方を工夫したりしていることを理解し、自動車工場の生産の仕方との違いについて、自分なりの言葉でまとめることができるようにする。

■問い合わせ先

国土交通省海事局総務課海洋教育・海事振興企画室

〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3 TEL:03-5253-8946

株式会社学習調査エデュフロント 企画営業部 企画営業課

〒114-0004 東京都北区堀船 2-17-1 TEL:03-5390-7364